



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

来年の花芽形成は7~8月です。樹全体に十分な日光が当たるように新梢管理を行ってください。また、本年は園地や樹によって着果状況にバラつきが見られます。園地の着果状況を必ず確認し、状況に応じて適正着果に努めましょう。

病害虫防除

◎7月下旬（7月30日頃まで）の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓ 当たり	散布日 月 日
	展着剤（ハイテンパワー）	10ml	散布量 ℓ
	オーソサイド水和剤 80	100g	(7日前、5回)
	劇 オリオン水和剤 40	100g	(21日前、1回)
対象病害虫	落葉病、炭そ病、すす点病、アザミウマ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類、カキノハタムシガ、ケムシ類、イラガ類、カキノヒメヨコバイ		
散布量	500ℓ / 10a *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		
注意事項	①【落葉病重点防除】昨年、落葉病が発生した園地では必ず散布する。 ②【カキノハタムシガ対策】オリオン水和剤 40 に代えて、サムコルフロアブル 10 の5,000 倍（前日、3回）を散布する。 ③オリオン水和剤 40 は劇物登録農薬です。購入の際は印鑑を持参してください。		

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

●今後の管理について

- *仕上げ摘果 …… 7月末までに仕上げ摘果を実施して下さい。
- *新梢管理 …… 7月末までに新梢管理を実施して下さい。
- *雑草管理 …… 主幹害虫対策として、根元は常にきれいにしましょう。
バスタ液剤（収穫前日まで、3回以内）
10a 当り 水 100~150ℓ、バスタ液剤 500ml

次回（予定）：7月17日